

機械器具 7 6 医療用吸入器
管理医療機器 家庭用超音波吸入器（JMDN コード 71020000）

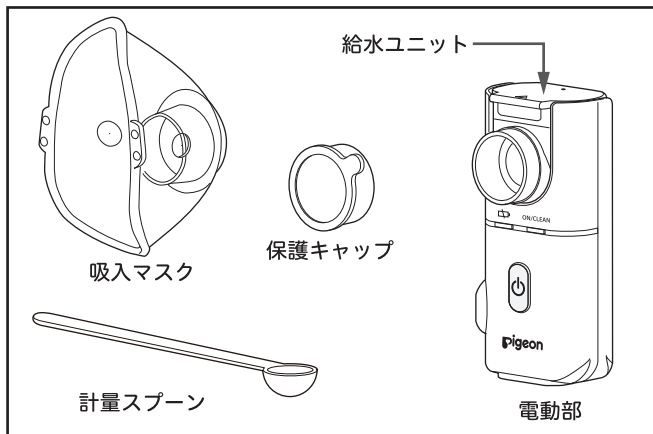
ポータブル吸入器 Misty

【禁忌・禁止】

- ・呼吸器や耳鼻咽喉に疾患のある人、その他医療機関で治療中の人はご使用前に医師にご相談ください。〔症状悪化の原因になります〕
- ・水もしくは生理食塩水を使用し、それ以外の薬剤や薬液等を使用しないでください。〔薬の吸入を目的とした機器ではありません〕
- ・使用後の吸入液は必ず廃棄し、吸入ごとに新しい吸入液を使用してください。〔雑菌が繁殖し、症状悪化の原因になります〕
- ・お子さまが本品で遊ぶことがないようにご注意ください。また、乳幼児やお子さまの手の届かないよう本品を保管してください。〔小さな部品を飲み込むおそれがあります。その場合は、すぐに医師の治療を受けてください〕

【形状・構造及び原理等】

（1）各部の名前 販売型式名：AP-100



標準付属品

保護キャップ	1 個
計量スプーン	1 個
取扱説明書（保証書付き）	1 冊
添付文書	1 部

（2）体に接触する部分の原材料

吸入マスク	：PVC
電動部	：ABS

（3）本体寸法及び質量

寸法	：幅 90.0(mm)×高さ 123.8(mm)×奥行き 81.7(mm)
質量	：約 80 g（電池含まず）

（4）電氣的定格

電源	：DC3V（単 3 形アルカリ乾電池 2 個）
消費電力	：0.72W
感電保護	：クラスⅢ

（5）作動・動作原理

超音波振動子を使用し、微細なメッシュの穴から瞬時に吸入液を押し出すことによって霧状を発生させます。

（6）品目仕様等

霧化量	：0.3 - 1.0ml/ 分
粒子径	： $5 \pm 2 \mu\text{m}$
充填量	：最大 約 6.0ml/ 最小 約 0.5ml

【使用目的又は効果】

鼻腔と咽喉の加湿、洗浄により不快感の改善。一般家庭で使用するこ

【使用方法等】

（1）吸入液の準備

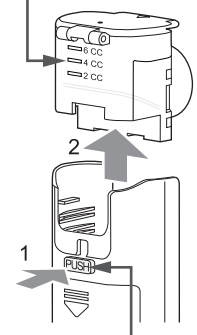
初めて使用するときや長期間使用しなかったとき、または汚れている場合は、洗浄してください。

1. 吸入液は、水道水か生理食塩水を使用してください。お湯は使用できません。
2. 生理食塩水を作る場合、給水ユニットに水 6 ml を入れて、計量スプーンで食塩を 1 杯（すり切り）加えてください。

（2）吸入液の入れかた

1. 給水ユニット取り外しボタンを押しながら給水ユニットを電動部から取り外してください。（電動部にセットしたまま、吸入液を入れないでください。）

給水目盛り



給水ユニット 取り外しボタン

2. 給水ユニットのフタを開けて吸入液を入れてください。

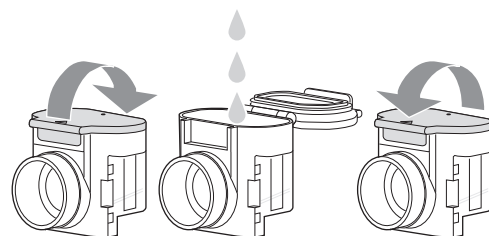
給水量は最大約 6ml/ 最小 0.5ml です。

給水ユニット背面の給水目盛りを参考に給水してください。

電動部から取り外した状態で給水してください。

吸入液を入れたら給水ユニットのフタを閉めてください。

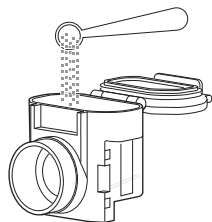
吸入液が給水ユニットから漏れるのを防ぐために、フタがしっかりと閉じられていることを確認してください。



取扱説明書を必ずご参照ください。

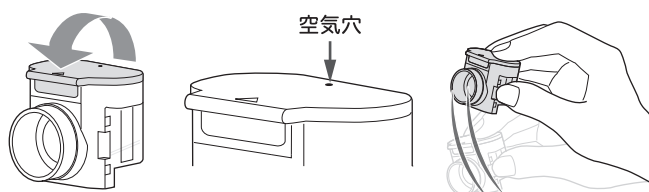
・生理食塩水の作りかた

1：給水ユニットに水 6 ml を入れて（背面の給水目盛り 6cc のところまで入れる）、付属の計量スプーンで食塩を 1 杯（すり切り）給水ユニットに加えます。（塩分濃度 0.9%）



2：フタを閉じて、空気穴を指で押さえながら給水ユニットを振ります。

※底のくぼみに食塩がたまりやすいので、その場合は空気穴を指で押さえて、上下さかさまにしながら溶かしてください。

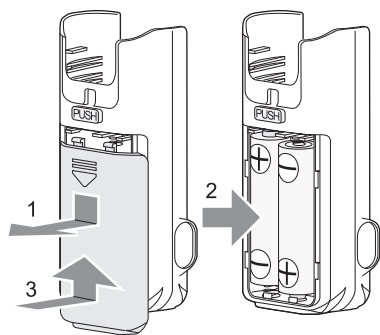


3：食塩の顆粒が見えなくなったら完成です。

※食塩が溶け切れていない場合、正常に噴霧しない可能性があります。メッシュ付近に食塩がたまると噴霧できません。また、正常に噴霧しない状態で吸入を行った場合、体調を損なう原因になります。

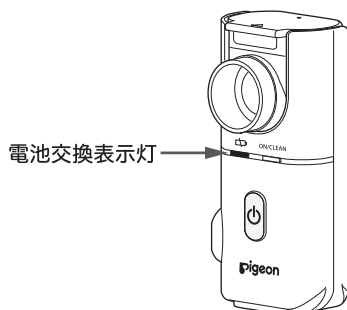
（3）乾電池の入れ方

1. 背面にある電池カバーを下にスライドさせて外します。
2. 電池表示マークに従って ⊕ ⊖（プラスマイナス）の表示に合わせて正しく入れます。
3. 電池カバーを上スライドさせて元に戻します。



電池交換表示灯（オレンジ色）

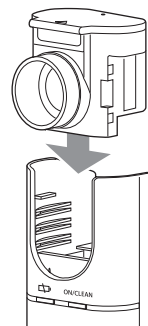
点滅	電池の容量が少なくなっています。新しい電池に交換してください。
点灯	電池の容量がありません。すぐに新しい電池に交換（2 個同時）してください。



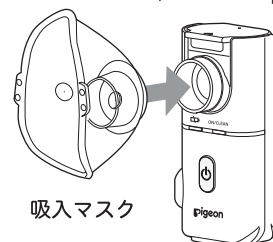
- ・長期間使用しないときは、電池を取り外しておいてください。電池を入れたまま長期間使用せず放置しておくと、電池から液が漏れ出し、機器が故障するおそれがあります。
- ・使用済みの電池は、お住まいの市区町村の指導に従って処分してください。

（4）本体の組み立てかた

1. 給水ユニットを電動部に取り付けます。
 - ・右図のように給水ユニットを取り付けます。
 - ・カチッと音がしたら、給水ユニットが正しく取り付けられています。取り付けが悪い場合、正しく噴霧されない場合があります。
 - ・電動部と給水ユニットの電極を清潔に保ってください。正しく噴霧されないことがあります。



2. 吸入マスクを取り付けます。



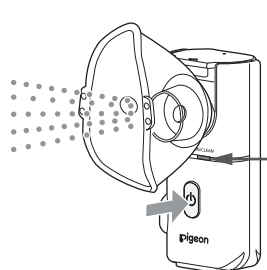
（5）吸入方法

1. 電源ボタン（）を押します。

電源を入れると吸入液が瞬間的に噴霧、休止した後に継続的に噴霧します。

金属音が発生することがありますが異常ではありません。

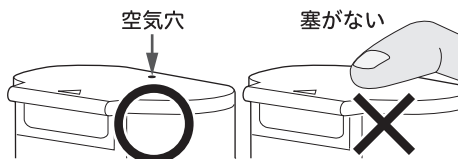
噴霧中は電源・クリーニングモード表示灯（緑色）が点灯します。



- ※電源ボタン（）を 3 秒以上押すと、青い表示灯が点灯し、ボタンから指を離すとクリーニングモードで噴霧開始します。その場合はそのまま吸入せず、一旦 OFF した後、再度短く電源ボタン（）を押してください。
- ※吸入液が無い状態では動作させないでください。

2. 吸入器を手にとり、吸入を開始します。

吸入マスクで鼻と口を覆います。
正常に噴霧しない可能性がありますので本体上面の空気穴を塞がないようにしてください。

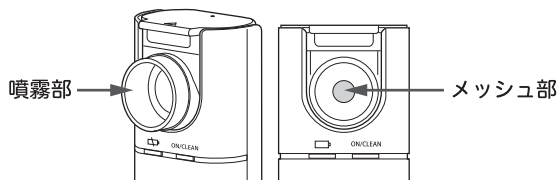


- ※メッシュ部に水滴がたまって噴霧が止まる場合があります。そのときは、水滴を排出してください。
- ※吸入中は吸入器をゆすらないでください。
- ※吸入マスクを上に向けると正常に噴霧しない場合があります。吸入マスクを横に向けるか、下に向けてご使用ください。
- ※吸入液がなくなりそうな場合は少し手前に傾けてご使用ください。正常に動作させるためには吸入液がメッシュ部と接触している必要があります。

※吸入マスクや噴霧部に付着した水滴はガーゼでふき取ってください。メッシュ部はティシュペーパーを使用すると詰まりが起る可能性があります。

※メッシュ部を綿棒やピンなどで突いたりしないでください。

※噴霧中、メッシュ部と吸入液の間に気泡が発生し、噴霧量が低下したり、メッシュ部が破損したりする可能性があります。その場合は電源を OFF にして、ゆっくりと本体を振ってもう一度電源を入れ直してご使用ください。



3. 吸入が終わったら、電源ボタン（）を押して電源を OFF にしてください。

本製品には 5 分のオートオフ機能がついていますが、途中で吸入液が無くなった場合は、その都度、手動で OFF にしてください。噴霧が終わったら給水ユニットに水を入れてクリーニングモードでメッシュ部を洗浄してください。

クリーニングモードの使いかた

電源ボタン（）を 3 秒間押し続けると電源・クリーニングモード表示灯（青色）が点灯します。このモードで吸入液の吸入は行わないでください。

※しばらく使用しない場合も、吸入液を捨てて、水でクリーニングください。

※使用後は「使用者による保守点検事項」にしたがって、清掃してください。

【使用上の注意】

<使用注意>

- ・喘息などの治療中の方は必ず医師に相談の上ご使用ください。
- ・体に異常（例えば、鼻粘膜の炎症や口腔内の炎症）がある場合は、必ず医師に相談の上ご使用ください。守らないと体調不良をおこすおそれがあります。
- ・吸入液には水もしくは生理食塩水を使用し、それ以外の薬剤や薬液等は使用しないでください。

<重要な基本的注意>

- ・お子さままたは体が不自由な方が使用する場合は、保護者または介護者の方が必ず付き添ってください。
- ・噴霧された吸入液を直接目に当てないでください。吸入液が目に入って、目を痛める原因になります。
- ・人以外に使用しないでください。
- ・本製品の付属品および専用別売品以外は使用しないでください。正常に噴霧しないおそれがあります。
- ・吸入液は 6ml 以上入れないでください。正常に噴霧しないおそれがあります。
- ・吸入液には常に新しい水、または生理食塩水を使用してください。健康を害するおそれがあります。
- ・食塩水を使用する場合には食塩の分量を間違えないでください。健康を害するおそれがあります。
- ・コンタクトレンズ用や鼻洗浄用の食塩水は使用しないでください。健康を害するおそれがあります。
- ・本体を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。破損し、感電や故障の原因になります。
- ・使用中、毛布やタオルなどで本体を覆わないでください。発熱や感電、故障の原因になります。
- ・メッシュや振動子を綿棒、ピンなどで突いたりしないでください。破損し、使用できなくなります。

- ・使用中に機器の近く（30cm 以内）で携帯電話やスマートフォンを使わないでください。誤動作の原因になります。
- ・使いきった電池はすぐに新しい電池に取り替えてください。
- ・長期間（1 ヶ月以上）使用しないときは、電池を取り出しておいてください。故障の原因になります。
- ・種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。故障や火災の原因になります。
- ・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。故障や火災の原因になります。
- ・リチウム電池は使用しないでください。故障や火災の原因になります。
- ・使用済みの電池は、お住まいの市区町村の指導に従って処分してください。
- ・持ち運びのときは水を抜いてください。給水ユニットの空気穴やメッシュ部から水が漏れる可能性があります。

【保管方法及び有効期間等】

（1）保管方法

吸入液は抜いた状態で保管してください。

清掃のあと、直射日光、高温、高湿度、ほこり、火気、振動や衝撃を受けやすい場所を避けて室温で保管してください。

1 ヶ月以上使用しないときは、電池を抜いてください。

（2）耐用期間

5 年（正規の保守点検を行い、1 回 5 分 / 1 日 3 回使用した場合）、消耗品（給水ユニット、吸入マスク、保護キャップ、計量スプーン）は 1 年、自己認証による。

※耐用期間を超過した場合は交換してください。

【保守・点検に係る事項】

<使用者による保守点検事項>

- ・しばらく使用しなかったときには、使用前に必ず作動すること（電源が入る、霧化するなど）を確認してからご使用ください。
- ・毎使用時、汚れや濡れがないかを確認してください。電動部の汚れは水や中性洗剤をしみこませた布を固く絞って拭いてください。電動部は水に浸さないでください。
- ・複数の人に使用する場合、吸入マスク、給水ユニットは吸入する人ごとに洗浄、消毒してください。

消毒方法

吸入マスクや給水ユニット（電動部を除く）、保護キャップや計量スプーンは、洗浄後に必要に応じて消毒を行うことが可能です。

1. 給水ユニット（電動部を除く）や吸入マスク、付属品を 81.4v/v% 以下の消毒用エタノールに約 10 分間浸します。
 2. 浸した後、その消毒用エタノールを捨て、水でゆすぎます。
 3. 繊維くずの出ない清潔な紙または布の上に置き乾燥させます。
- ※繊維くずの出やすい布の上で乾燥させないでください。ほこりや布の繊維がメッシュに残り、噴霧量が低下する可能性があります。

※消毒液に部品全体を浸してください。

※ゆすぎ残しのないように十分な量の水で給水ユニット（電動部を除く）や、吸入マスク、付属品を洗浄してください。また、メッシュ部をティシュペーパーなどで拭かないでください。

※給水ユニット（電動部を除く）や吸入マスク、付属品は消毒用エタノールに浸すことができます。消毒用エタノール以外（高濃度エタノール、メタノール、その他の消毒剤）は使用しないでください。また、消毒用エタノールに浸けたあとは水で十分にゆすいで乾燥させてください。

※消毒用エタノール以外の消毒や除菌（煮沸消毒、スチーム除菌、電子レンジ除菌、次亜塩素酸ナトリウム等による薬液消毒（ミルクボン等））は行わないでください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元

名称： 株式会社エー・アンド・デイ
住所： 〒364-8585 埼玉県北本市朝日 1-243
電話： 0120-514-016

製造元

名称： HEALTH & LIFE Co., Ltd.(台湾)
ヘルス アンド ライフ

販売元

名称： ピジョン株式会社
住所： 〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町 4-4
電話： 0120-741-887 (お客様相談窓口)